

学部長挨拶



鳥取大学地域学部長  
藤井 正

鳥取大学地域学部は、生活の質の向上とその基盤である地域の持続可能な発展をめざして、今年度から新たにスタートしました。これまでの4学科から「地域学科」1学科3コースの構成とし、さらに学際的に融合して地域の課題にアプローチするとともに、現場往還型の学びを充実させて実践力のある人材を育成します。本大会のあり方も一新させ、「学生とともにつくる地域学」をめざして企画・運営に学生も参画し、若きエネルギーを注いでくれています。

第8回大会のテーマ《地域で生きる場をつくる》では、私たち一人ひとりの足元から暮らしをみつめ、より豊かに地域で生きることを支える条件や方法について考えていきたいと思えます。基調講演(午前)では、生活者の視点から多数の著書を執筆されている森まゆみ氏にご講演いただきます。午後からは、学生たちの問題意識をもとに、地域の新たな未来を切り拓く糸口を探っていく分科会を企画しています。地域を担う等身大の若者の思いや願い、柔軟な発想から、地域づくりのヒントを得て頂きますと幸いです。

スケジュール

9:30 受付開始 (第1会議室前)

10:00 開会挨拶・大会趣旨説明

10:30 基調講演「地域雑誌『<sup>やねせん</sup>谷根千』とその後」 森 まゆみ 氏

作家・編集者。現在、東京大学客員教授、早稲田大学ジャーナリズム研究所招聘研究員、明治学院大学国際平和研究所研究員。1954年東京都文京区生まれ。早稲田大学政経学部卒業。東京大学新聞研究所修了。1984年、地域雑誌『<sup>やねせん</sup>谷中・根津・千駄木』(『谷根千』)を創刊、2009年の終刊まで編集人を務める。専門は地域史、近代女性史、まちづくり、アーカイブ。1998年に『鷗外の坂』(新潮社、1997年)で芸術選奨文部大臣新人賞、2003年に『「即興詩人」のイタリア』(講談社、2003年)でJTB紀行文学大賞、2014年に『青鞥の冒険』(平凡社、2013年)で紫式部文学賞を受賞。その他、サントリー地域文化賞、建築学会賞(文化賞)等受賞。上記以外に、『谷根千の冒険』(ちくま文庫、2002年)、『女三人のシベリア鉄道』(集英社、2009年)、『海に沿って歩く』(朝日新聞出版、2010年)、『おたがいさま』(ポプラ社、2011年)、『暗い時代の人々』(亜紀書房、2017年)、『子規の音』(新潮社、2017年)等、多数の著作がある。

12:15 昼食、ポスターセッション

会場：第2会議室

飲食コーナー

「トトリ式屋台」の開設!

昼食時間と休憩時間に、第1会議室前のスペース等を利用し、学生と地域住民の連携による「トトリ式屋台」が飲食の提供を行います。

13:30 分科会 会場：第2・第4会議室

「一拠点居住 VS 二拠点居住」  
「What's ワークライフバランス?」



15:00 休憩

15:15 総括セッション

16:30 閉会挨拶

16:35 終了

会場へのアクセス

徒歩 JR鳥取駅から20分

バス ●「県庁日赤前」下車  
●「県民文化会館」下車

車 ●JR鳥取駅から約5分  
●鳥取砂丘コナン空港から約15分  
●駐車場約300台、利用料無料  
※混雑が予測されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

財団法人鳥取県文化振興財団  
とりぎん文化会館

〒680-0017  
鳥取市尚徳町101-5  
TEL(0857)21-8700



2017年 **11/25** 土

10:00~16:35 (9:30受付開始)

申込不要・参加無料

問合せ：鳥取大学地域学部庶務係 tel.0857-31-5073

※参加の際に支援の必要な方は事前にご連絡ください

